



# 給食だより 1月



新年明けましておめでとうございます。令和3年を迎えて、新たな気持ちでいる人も多いかと思います。3学期は各学年、締めくくりの学期です。学業・部活など悔いを残さないような生活をしましょう。

## ○学校給食には131年の歴史があります

1月24日から1月30日は全国学校給食週間！



### 給食のはじまり

日本で初めての給食は、明治22年熊本県鶴岡市でお弁当を持参できない児童のために無償で提供されました。ここから、少しずつ全国へ給食が広まっています。

右の写真は、当時の給食の再現。（献立は、おにぎりと塩鮭と菜の漬物）



### 戦争による給食中断と再開

昭和16年頃から、子供の栄養状態の改善のため給食の内容を充実させようとするのですが戦争が始まってしまい食糧不足のため学校給食は中断されました。昭和20年に戦争は終わりますが、食糧不足は続き、色々な病気や栄養不足になる子供がたくさんいました。昭和21年に戦後の学校給食の方針が決まり、12月24日に東京・神奈川・千葉で給食が再開されました。それから少しずつ全国で給食が再開されていきました。

### 戦後の給食の歩み

昭和24年にユニセフ（国際連合児童基金）から脱脂粉乳の支援が、昭和25年にはアメリカからの小麦粉の支援を受けて8大都市の小学校児童に完全給食が実施されました。

右の写真は、昭和25年頃の給食の再現。（献立は、コッペパン・脱脂粉乳・ポタージュ・コロッケ・千切りキャベツ・マーガリン）

その後、昭和29年には「学校給食法」が制定され、給食について法律で定義され日本の給食が第二のスタートをきりました。



昭和33年には脱脂粉乳から牛乳になりました。少しずつ、給食の内容や位置付けが確立していき、昭和51年には制度上に米飯が正式に導入されました。

右の写真は、昭和52年の給食の再現。（献立は、カレーライス・牛乳・塩もみ・果物・スープ）



### 全国学校給食週間

12月24日が給食再開記念日ですが、冬休みで給食がないので1ヶ月遅らせた1月24日からの1週間が全国学校給食週間となりました。時代の変化を受けながらも外国からの支援や学校で給食を食べる大切さを唱えてきた人たちがいて、今の給食が存在しています。そのことを忘れず、学校給食の意味や給食に関わっているたくさんの人たちのことを改めて考える機会です。

（写真提供元：独立行政法人日本スポーツ振興センター）

